



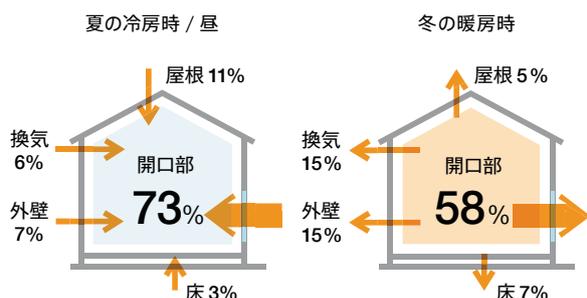
窓の役割

窓は断熱・採光・採風といった機能のほかに、眺望や開放感などによって、暮らす人に安らぎや心地よさも提供します。さらに、防犯や防音の機能を高めることで、より安全・安心な暮らしを実現します。

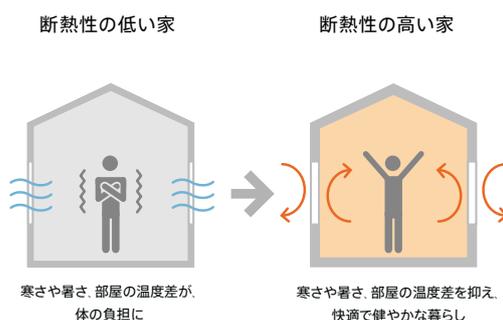
断熱

住宅における熱の流出・流入の割合は、開口部が最も多いと言われています。断熱・遮断性能の高い窓を選ぶことで、冬は暖かく夏は涼しくなって、私たちの生活は快適になります。またエネルギー消費を抑え、CO₂の排出量を削減することで、地球温暖化防止にも繋がります。

住宅への熱の出入り



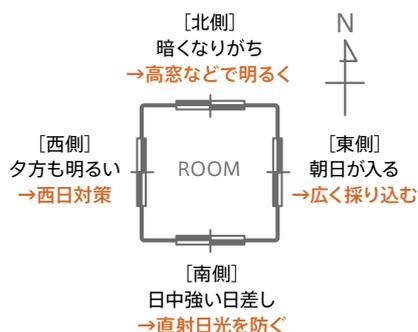
「断熱性能」が、健康と快適性を左右する



採光

太陽の暖かさと明るさを採り入れることは、快適な暮らしの基本です。東西南北の方角による光の性質や四季による太陽の高さ、日差しの角度が異なります。窓の位置や大きさ、日よけなどによって、より効果的な採光が可能となります。

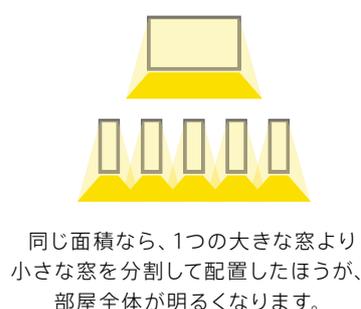
採光の基本



窓の高さによる採光の違い



窓の配置による採光の違い



眺望

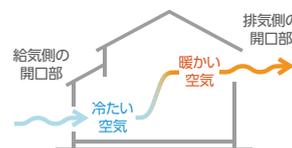
窓は外の眺めを切り取って、額縁の絵のように見せてくれます。眺めの良い部屋に大きな窓を取付けて開放的な景色を楽しむだけでなく、スリット窓や丸窓・天窗などで景色を切り取って楽しむこともできます。



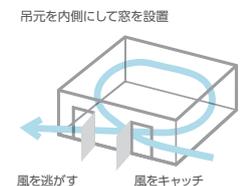
採風(換気)

自然の風を家の中に採り入れることには、室内の温度や湿度の調節、ホコリや揮発性の有害物質を外に出してくれるなど、様々なメリットがあります。風通しの良い家を作るには、季節による風向きや立地条件を考慮し、窓の種類や位置を工夫して風の入口と出口を作ることが肝心です。

空気の特徴を利用した
温度差換気



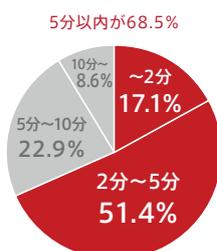
縦すべり出し窓で、
通り抜ける風を捕まえる



防犯

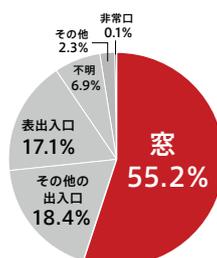
建物侵入のおよそ6割が窓からといわれています。まずは侵入者に狙われない防犯対策をすると同時に、防犯を考慮した窓を選ぶことで、内部への侵入を防いだり、遅らせることが可能になります。

侵入をあきらめる
までの時間



[出典: (財)都市防犯研究センター]

侵入の手段
(一戸建住宅)



[出典: 平成27年警察庁ホームページ]

防音

遮音性能の高い窓やドアを使用することで、外からの騒音を軽減したり、室内の音を漏れにくくすることができます。また、雨戸やシャッターを使用したり、窓を2重にすることで更に遮音効果が高まります。ガラス部分には、ガラスの厚みを厚くしたり、内外のガラス厚が異なる複層ガラスを使用すると遮音性能が向上します。



シャッター付窓



複層ガラス